

平成 22 年度 山形県みどり推進機構「緑化推進助成事業」

新たなる環境教育の可能性をさぐる
～ 焚き火で語ろう ～

第 12 回東北環境教育ミーティング in やまがた

<http://teef12.seesaa.net/>



【主催】東北環境教育ネットワーク（主管団体：特定非営利活動法人グラウンドワーカーズ）

【共催】（社）日本環境教育フォーラム（jeef）

【後援】（特非）日本エコツーリズムセンター、（特非）自然体験活動推進協議会（CONE）

【協力】（特非）里の自然文化共育研究所、最上川学推進センター、せんだいカヌークラブ、
くりこま高原自然学校、北上川自然学校、環境教育工房 LinX、リードクラム株式会社ほか（予定）

【開催趣旨】

自然の豊かさや、歴史文化の多様性に根差した環境教育の普及をめざす人たちの、自己研鑽とネットワークづくりを目的として開催します。

【開催日】平成 22 年 9 月 3 日（金）～5 日（日）2 泊 3 日（部分参加、日帰り可）

【開催場所】最上川学推進センター（旧、清川小学校）ほか

住所：山形県東田川郡庄内町清川字花崎 1 - 1

アクセス：JR 陸羽西線清川駅下車、東へ 700m。国道 47 号線沿い。

【参加費】

一般 15,000 円、学生および jeef 会員 12,000 円、子ども 6,000 円、未就学児 1,000 円（保険料）

（2 泊 5 食、茶菓代、資料代、傷害保険加入料）

※ 学生は学生証、jeef 会員は会員証を提示してください。

※ 保険加入のため、子ども、未就学児分も、必ず申込用紙を提出してください。

【参加定員】50 名

こんな方に、ぜひ、参加していただきたい。

1. マンネリ、自己満足の活動から脱皮したい。
2. 環境問題の現状と課題を知りたい、実践につなげたい。
3. 環境教育の仕事がしたい。関わりたい。
4. 仲間を作りたい。環境教育のプロと友達になりたい。

【申込み締切り】8 月 20 日（金）まで ※定員に達した場合は、早期に締め切ります。

【持ち物】懐中電灯、名刺、マイカップ、マイはし。雨具、軍手、長靴など野外活動に適した持ち物。
その他、生活上必要なもの。（地酒、おみやげ大歓迎） **2 泊目テント泊。寝袋持参歓迎**

【申し込み、問合せ先】最上川学推進センター

〒999-6606 山形県東田川郡庄内町清川字花崎 1 - 1

電話 0234-57-2177、Fax0234-57-2802、e-mail icesrc@nifty.com

web <http://homepage2.nifty.com/dega-web/>

文責：星川直（グラウンドワーカーズ理事）090-6450-2220、yyjazz999@yahoo.co.jp

【スケジュール】

9月3日（金）

13：30 受付開始

14：00 主催者あいさつ、オリエンテーション

14：45 基調講演「環境教育 善意の落とし穴」（予定）

田中 優さん（未来バンク事業組合理事長、JVC 理事、ap bank 監事、天然住宅共同代表ほか）

16：15 田中優さんに質問しよう、意見を交わそう

17：00 （移動） 月の沢温泉「北月山荘」 庄内町狩川字大釜 22 TEL0234-56-2213、FAX0234-56-3255

18：30 夕食、交流会

《講演者プロフィール》

講演「環境教育 善意の落とし穴」 田中 優さん

1957年東京都生まれ。地域での脱原発やリサイクルの運動を出発点に、環境、経済、平和などの、さまざまなNGO活動に関わる。現在「未来バンク事業組合」理事長、「日本国際ボランティアセンター」「足温ネット」理事、「ap bank」監事、一般社団「天然住宅」共同代表を務める。現在、立教大学大学院、和光大学大学院、大東文化大学の非常勤講師。

著書（共著含む）『環境破壊のメカニズム』『日本の電気料はなぜ高い』『どうして郵貯がいけないの』（以上、北斗出版）、『非戦』（幻冬社）、『Eco・エコ省エネゲーム』『戦争をやめさせ環境破壊をくいとめる新しい社会の作り方』『戦争をしなくてすむ世界をつくる30の方法』『世界から貧しさをなくす30の方法』（以上、合同出版）、『戦争って、環境問題と関係ないと思ってた』（岩波書店）『地球温暖化／人類滅亡のシナリオは回避できるか』（扶桑社新書）『おカネで世界を変える30の方法』（合同出版）『今すぐ考えよう地球温暖化！ 1～3』（岩崎書店、子ども向け）『おカネが変われば世界が変わる』（コモンズ）『環境教育 善意の落とし穴』（大月書店）他多数。



講演「見過ごされていた自然や生活の知恵を再発見する」 出川真也さん



1978年長野県生まれ。山形県庄内町在住。山村の自然と文化を子どもたちに伝えながら地域作りを行う「角川里の自然環境学校」の活動に住民と共に取り組む。現在「NPO法人里の自然文化共育研究所」専務理事、山形大准教授。農山漁村や都市部などの多様な住民が参画できるふるさと学習の幅広い展開を目指し活動している。

著書「田園自然再生よみがえる自然・生命・農・地域（農文協）」、「Enjoy フィールドワーク・フィールドワークの手引き」（山形大学高等教育研究企画センター）、「森、里、川、海をつなぐ自然再生」（中央法規出版）他多数。

9月4日(土) 保全活動実践プログラム(予定)

8:30 出発

Aコース 雑木林で「森のようちえん」(移動後9:00開始)

Bコース 間伐材を使う「皮むき間伐」(移動後9:00開始)

Cコース 最上川ラフティング、カヌーイング
「芭蕉の足跡を訪ねて」(移動後10:30開始)

16:00 キャンプ場「くつはみ沢」集合 ※懐中電灯を忘れずに。

A・B → バス・自家用車で左岸 → 舟で右岸のキャンプ場へ移動

17:00 全体会 プログラムの内容報告、ふりかえり

18:00 夕食 (たき火を囲んでの交流会)

講演 「見過ごされていた自然や生活の知恵を再発見する」(予定)

出川真也さん(里の自然文化共育研究所専務理事、山形大学准教授ほか)



9月5日(日)

9:00~11:00

分科会 「環境教育の新たな可能性」ほか(予定)

全体会 持ち帰りたいこと、実践したいこと

ファシリテーター 井東敬子さん(リードクライム株式会社取締役)

11:00~12:00 撤収 → 解散

(午後) エクスカーション 羽黒山の自然神に学ぶ(予定) ※最小催行人数4名

【保全活動実践プログラム概要】

Aコース(定員10名) 雑木林で「森のようちえん」

AM 雑木林に出かけ、「森のようちえん」を体験します。

PM 竹林・広葉樹の活用を体験します。

Bコース(定員20名) 間伐材を使う、話題沸騰の「皮むき間伐」

AM 皮むき間伐講習会

PM 間伐材で自然体験活動拠点・施設を作ります。

Cコース(定員20名) 最上川ラフティング、カヌーイング「芭蕉の足跡を訪ねて」

・松尾芭蕉が「奥の細道」紀行でたどった道を、舟で訪ねます。

・終日活動です。

・用具は全て用意します。

・プロのインストラクターが指導します。

・救助艇を用意します。

エクスカーション 羽黒山の自然神に学ぶ(最終日、午後)

・山岳信仰の羽黒山を訪ね、その歴史と文化を学びます。(最小催行人数4名、参加費実費)

「環境教育ミーティング 2010in やまがた」参加申込書

(同時開催、第12回東北環境教育ミーティング)

事務局使用欄	
受付番号	

送り先：最上川学推進センター FAX 0234-57-2802 e-mail icesrc@nifty.com

記入日：2010年 月 日

(個人情報は、本ミーティング以外で使用しません。保険加入のため、参加者全員分を提出してください。)

ふりがな			満年齢	生年月日		性別
参加者氏名				S H	年 月 日	女性・男性
連絡先	住所	〒				
	電話番号			FAX		
	e-mail			メールリストへの登録	希望する・しない	
ご職業または日頃の活動 (学生は学校名、学部、学年)					Jeef 会員番号	
					Jeef 有効期限	
参加の動機、 ミーティングへの期待、 実現したいこと、質問 etc						
全日程参加 (いずれかに○)		一般 (15,000 円) 子ども (6,000 円)		学生 or Jeef 会員 (12,000 円) 未就学児 (1,000 円)		
部分参加 (参加希望に、○を付けてください。)						記入欄
9月3日	基調講演		(無料)			
	交流会		4,000 円		飲み物を含む	
	宿泊		4,000 円		朝食を含む	
9月4日	4,000 円 未就学児 無料	A	雑木林で「森のようちえん」		昼食代、指導料、備品 使用料ほか	
		B	間伐材を使う「皮むき間伐」		〃	
		C	最上川ラフティング、カヌーイング 「芭蕉の足跡を訪ねて」		〃 (未就学児不可)	
	テント泊		3,000 円 (未就学児無料)		飲食、備品の経費	
9月5日	全体会		(無料)			
部分参加費 合計				円		

9月5日	エクスカージョン	羽黒山の自然神に学ぶ	昼食、ガイド料 4,000 円程度
------	----------	------------	-------------------